



# 2020年12月期(2020年度)決算説明会

2021年2月16日  
JUKI株式会社

## 第1部 2020年12月期（2020年度）業績の概要

1. 業績推移・配当	3
2. 経常利益増減要因	4
3. 主要財務項目推移	5
4. セグメント別業績推移	6
5. 通期業績予想	10

## 第2部 中期経営計画（2021-2022）の取り組みと2021年度の重点施策

1. 中期経営計画の取り組み	13
2. 2021年度 重点施策	26

A world map in shades of blue with a network of white lines and dots overlaid, representing global connectivity. The text is centered over the map.

第1部  
2020年12月期（2020年度）  
業績の概要

売上高は、新型コロナウイルスの感染拡大によるお客様の設備投資需要の抑制を受け前年比29.0%の減収となったものの、第2四半期をボトムに回復基調に転じ、下期に入り回復。

利益面は、売上減少や工場の稼働率低下の影響により経常利益は前年比69億円の減益になったものの、売上の改善並びにコスト構造改革により第3四半期以降回復に転じ、第4四半期には黒字に転換。

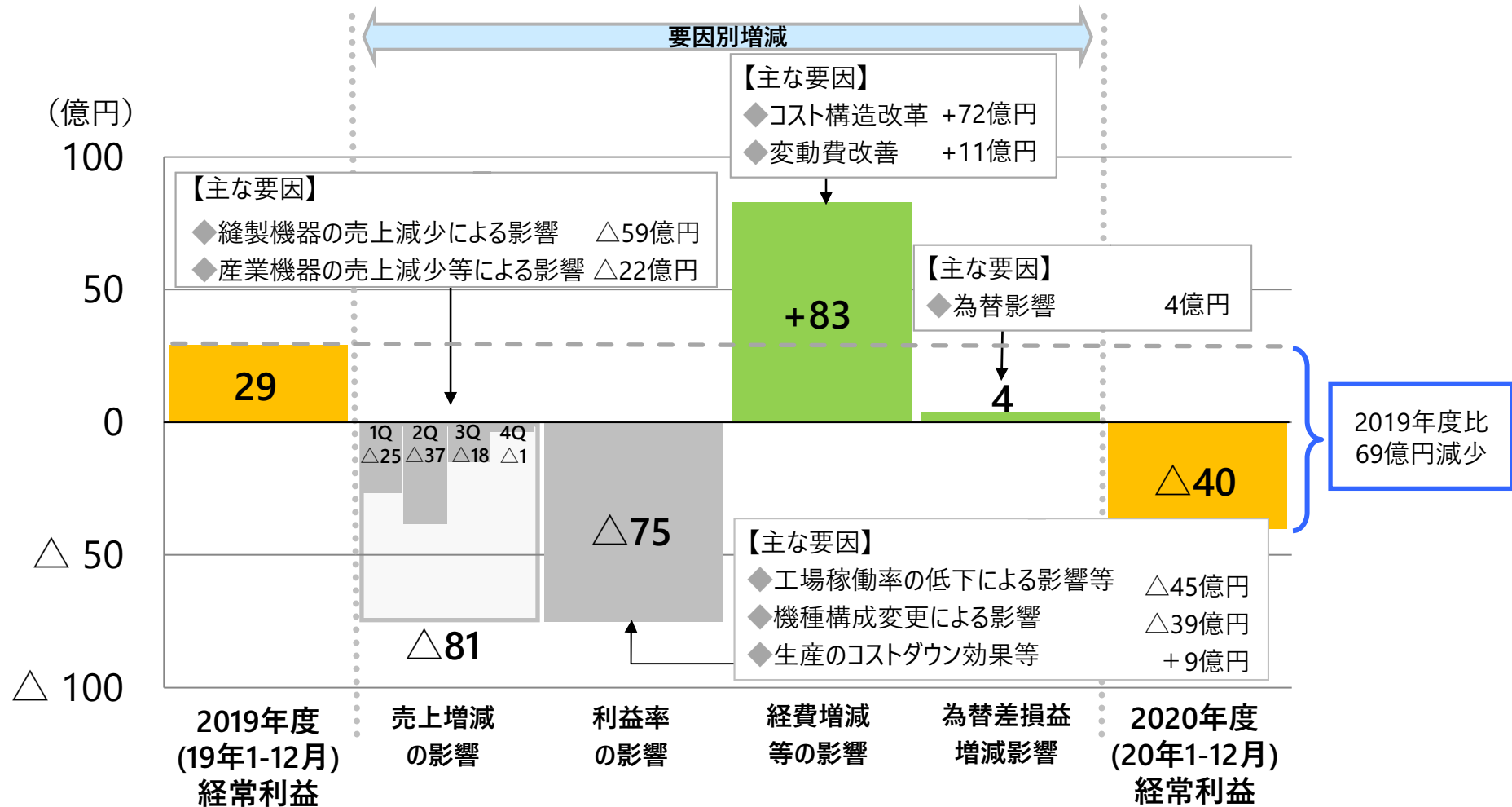
(百万円)

	18/12期 (18年度)	19/12期 (19年度) <A>	20/12期 (20年度) <B>	前年同期比 増減額 <B-A> (増減率)	【参考】20/12期(2020年度) 四半期実績推移				
	18年1-12月	19年1-12月	20年1-12月		1Q 20年1-3月	2Q 20年4-6月	3Q 20年7-9月	4Q 20年10-12月	
売上高	112,064	99,169	70,401	△28,767 (△29.0%)	16,860	13,636	16,281	23,624	
営業利益 [営業利益率]	9,148 [8.2%]	3,838 [3.9%]	△4,469 [-]	△8,307 (-)	△1,472 [-]	△1,996 [-]	△1,179 [-]	178 [0.8%]	
経常利益 [経常利益率]	8,385 [7.5%]	2,941 [3.0%]	△3,957 [-]	△6,898 (-)	△1,732 [-]	△1,710 [-]	△778 [-]	263 [1.1%]	
当期純利益 [当期純利益率]	6,640 [5.9%]	1,763 [1.8%]	△4,688 [-]	△6,451 (-)	△1,836 [-]	△2,067 [-]	△992 [-]	207 [0.9%]	
配当 (株式併合後基準)	普通 30円/株	普通 25円/株	普通 20円/株	普通△5円/株	—	—	—	—	
為替 レート	ドル ユーロ	111円 130円	109円 123円	107円 122円	△2円 △1円	109円 121円	108円 119円	106円 124円	104円 124円

\* 為替レートは営業利益に影響する期中平均レート

# 2020年12月期（2020年度）経常利益増減要因

利益面は、売上減少や工場稼働率低下等の影響が大きい中、本社や国内外のグループ工場の一斉操業停止も含む大幅な生産調整、管理間接部門の一時帰休や新たなコストダウン等による利益率改善により、経常利益は前年比69億円の減益に留めた。



# 1-3

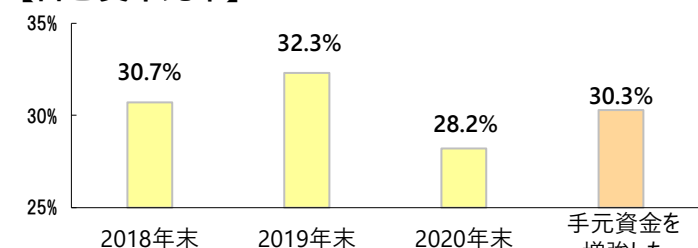
## 主要財務項目推移

総資産は、売上債権や在庫が減少したことなどにより前年比45億円減、自己資本比率は28.2%。

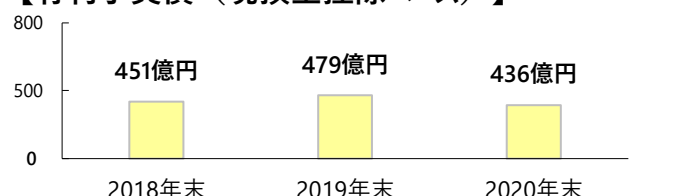
有利子負債※1は、短期借入金の減少などにより現預金控除ベースで436億円と、前年比で43億円減。

(単位:百万円)	19/12期 (19年12月末) 〈B〉	20/12期 (20年12月末) 〈B〉	増減額 〈B-A〉	
総資産	114,715	110,230	△4,485	
純資産 [為替換算調整勘定]	37,752 [△3,437]	31,368 [△4,063]	△6,383 [△626]	
純資産比率	32.9%	28.5%	△4.5%	
自己資本比率	32.3%	28.2%	△4.1%	
売上債権 [売上債権回期間]	30,461 [3.7ヵ月]	23,326 [4.0ヵ月]	△7,134 [0.3ヵ月]	
在庫 [在庫回転期間]	41,461 [5.0ヵ月]	36,709 [6.3ヵ月]	△4,751 [1.3ヵ月]	
仕入債務 [仕入債務回期間]	9,998 [1.2ヵ月]	10,128 [1.7ヵ月]	130 [0.5ヵ月]	
有利子負債	53,878	57,443	3,565	
現預金	5,987	13,831	7,843	
為替レート (期末)	ドル	110円	104円	△6円

【自己資本比率】



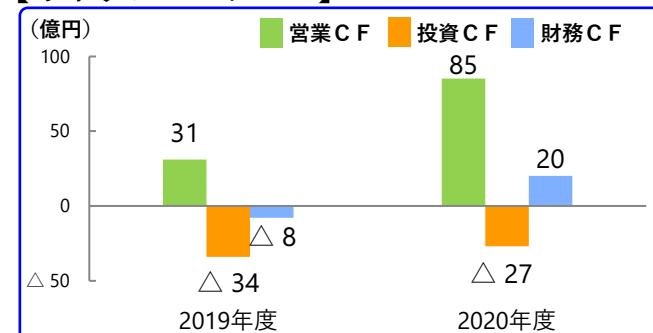
【有利子負債（現預金控除ベース）】



【Net D/Eレシオ】(有利子負債 - 現預金) / 純資産



【キャッシュ・フロー】



※1

# 1-4

## セグメント別業績推移 -売上高-

縫製機器 & システムは、工業用ミシンの売上が新型コロナ感染拡大により、特に上期において相当な影響を受けたものの、第4四半期で中国、米州の売上の回復が進み、家庭用ミシンは巣ごもり需要拡大に対応した結果、前年同期(累計)比では33.5%の減収。

産業機器 & システムは、産業装置では同様に相当な影響を受けたものの、中国等を中心に5G関連の設備投資需要の回復が進み、第4四半期は前年同期を上回るなど着実に回復が進み、一方、グループ事業では車載関係を中心に売上が伸び悩んだ結果、全体の売上高は前年比20.8%の減収。

	19/12期 (19年度) <A>	20/12期 (20年度) <B>	前年同期比 増減額 <B-A> (増減率)
(単位:百万円)	19年1-12月	20年1-12月	
縫製機器 & システム	64,260	42,732	△21,528 (△33.5%)
産業機器 & システム	34,671	27,447	△7,224 (△20.8%)
その他	237	221	△16 (△6.8%)
合計	99,169	70,401	△28,767 (△29.0%)
グループ事業	10,804	9,100	△1,704 (△15.8%)

【参考】20/12期(2020年度) 四半期実績			
1Q	2Q	3Q	4Q
20年1-3月	20年4-6月	20年7-9月	20年10-12月
10,662	7,780	9,811	14,479
6,140	5,800	6,417	9,090
57	56	53	55
16,860	13,636	16,281	23,624
2,520	1,942	2,261	2,377

# 1-5

## セグメント別業績推移 - 経常利益 -

縫製機器&システムは、売上減少や工場稼働率低下の影響などにより22億円の損失となったものの、売上の改善並びに構造改革によるコスト削減に努め着実に赤字幅を縮小し、第4四半期は黒字に転換。

産業機器&システムは、売上減少、工場稼働率低下の影響により4千万円の損失となったものの、第3四半期は売上改善並びに構造改革によるコスト削減や工場稼働率の改善が進んだことなどにより黒字に転換し、第4四半期は第3四半期比で+5億円と大幅な増益。

(単位:百万円)	19/12期 (19年度) <A>	20/12期 (20年度) <B>	前年同期比 増減額 <B-A> (増減率)
	19年1-12月	20年1-12月	
縫製機器 & システム [経常利益率]	2,680 [4.2%]	△2,201 [-]	△4,881 (-)
産業機器 & システム [経常利益率]	1,853 [5.3%]	△42 [-]	△1,895 (-)
その他 [経常利益率]	86 [36.3%]	90 [40.7%]	4 (4.7%)
調整額	△1,678	△1,803	△125
合計	2,941 [3.0%]	△3,957 [-]	△6,898 (-)

【参考】20/12期(2020年度) 四半期実績			
1Q	2Q	3Q	4Q
20年1-3月	20年4-6月	20年7-9月	20年10-12月
△922 [-]	△879 [-]	△421 [-]	21 [0.1%]
△384 [-]	△231 [-]	17 [0.3%]	556 [6.1%]
19 [33.3%]	22 [39.3%]	21 [39.6%]	28 [50.9%]
△445	△621	△396	△341
△1,732 [-]	△1,710 [-]	△778 [-]	263 [1.1%]

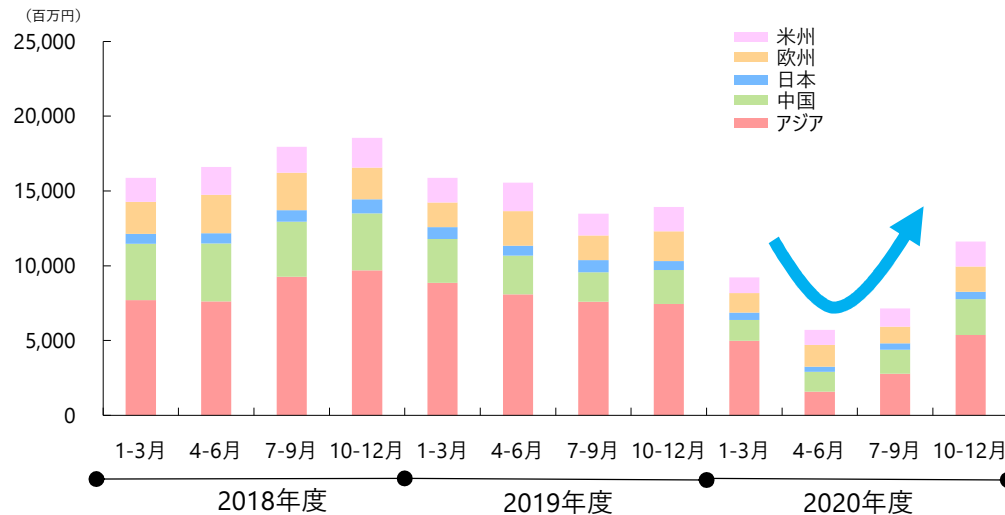


# (参考①)

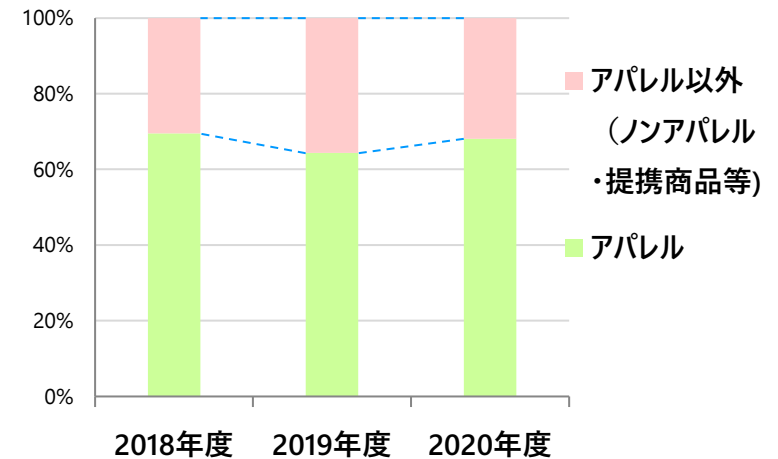
## セグメント別業績 縫製機器 & システム

- 工業用ミシンは、前年同期比43%減少となったものの、第4四半期より中国、米州等の市場で売上が回復。
- 家庭用ミシンは、通期で前年同期比50%増加（下期は前期比46%増加、前年比で76%増加）。

### 1. 【工業用ミシンの地域別売上高推移】（月次集計ベース）



### 2. 【アパレル・アパレル以外の売上高比率推移】（除く家庭用ミシン）

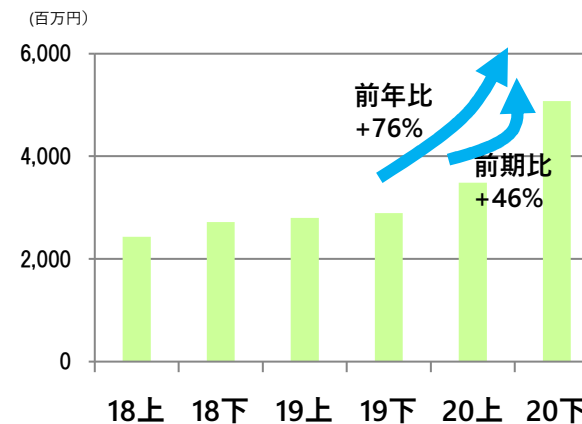


### 【売上高：前年同期比較】

(単位：億円)

	2019年度 (1-12月)	2020年度 (1-12月)	増減額	(増減率)
中国	98	67	△31	(△32%)
アジア	320	147	△173	(△54%)
中国+アジア	418	214	△204	△49%
日本	29	18	△11	
欧州	76	56	△20	(△27%)
米州	66	50	△17	(△26%)
合計	589	337	△252	△43%

### 3. 【家庭用ミシンの売上推移】

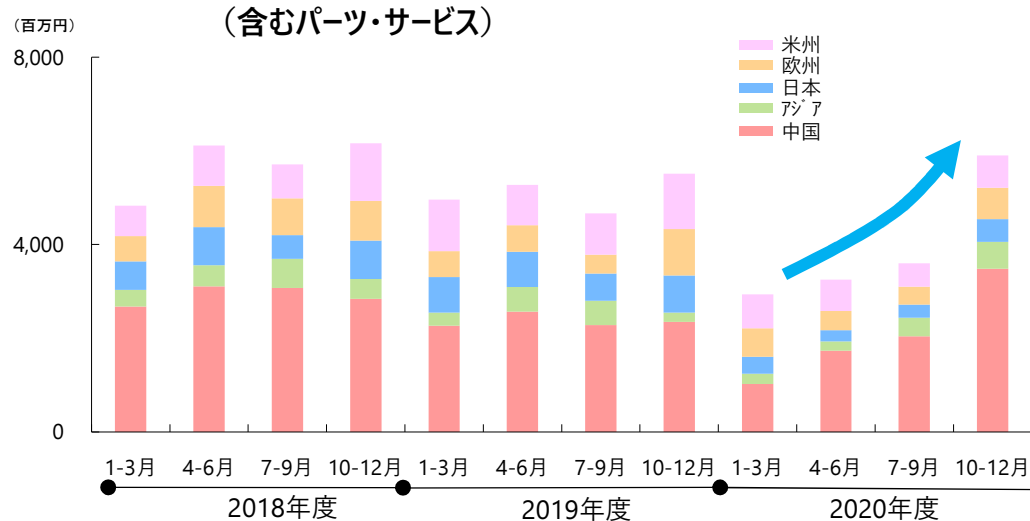


## (参考②)

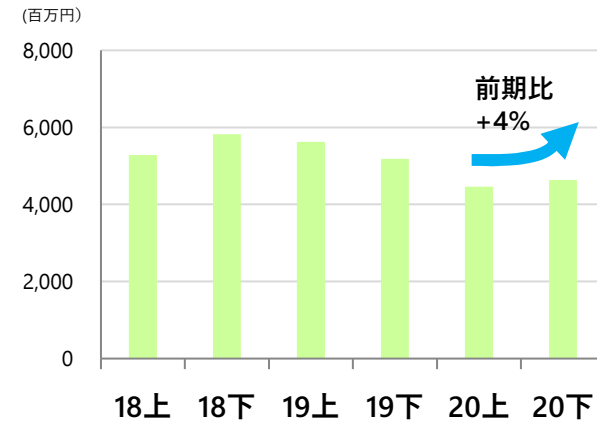
# セグメント別業績 産業機器 & システム

産業装置は、前年同期比では23%減少とはなったものの、中国を中心に5G関連等の伸びにより急速に回復。

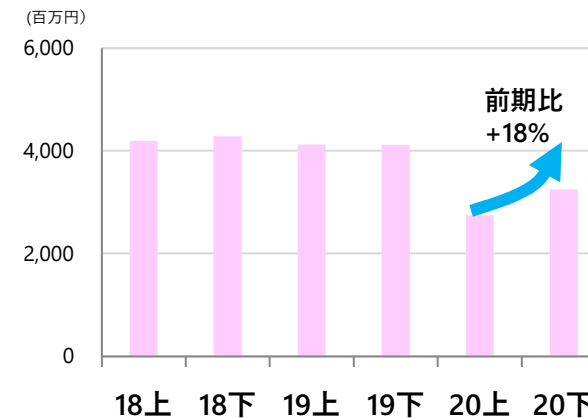
### 1. 【産業装置の地域別売上高推移】 (月次集計ベース)



### 2. 【グループ事業の売上推移】



### 3. 【パーツ事業の売上推移】



#### 【売上高：前年同期比較】

(単位：億円)

	2019年度 (1-12月)	2020年度 (1-12月)	増減額	(増減率)
中国	95	83	△12	(△13%)
アジア	15	14	△1	
中国+アジア	110	97	△13	△12%
日本	29	14	△15	(△52%)
欧州	25	21	△4	
米州	40	26	△14	(△36%)
合計	204	157	△47	△23%

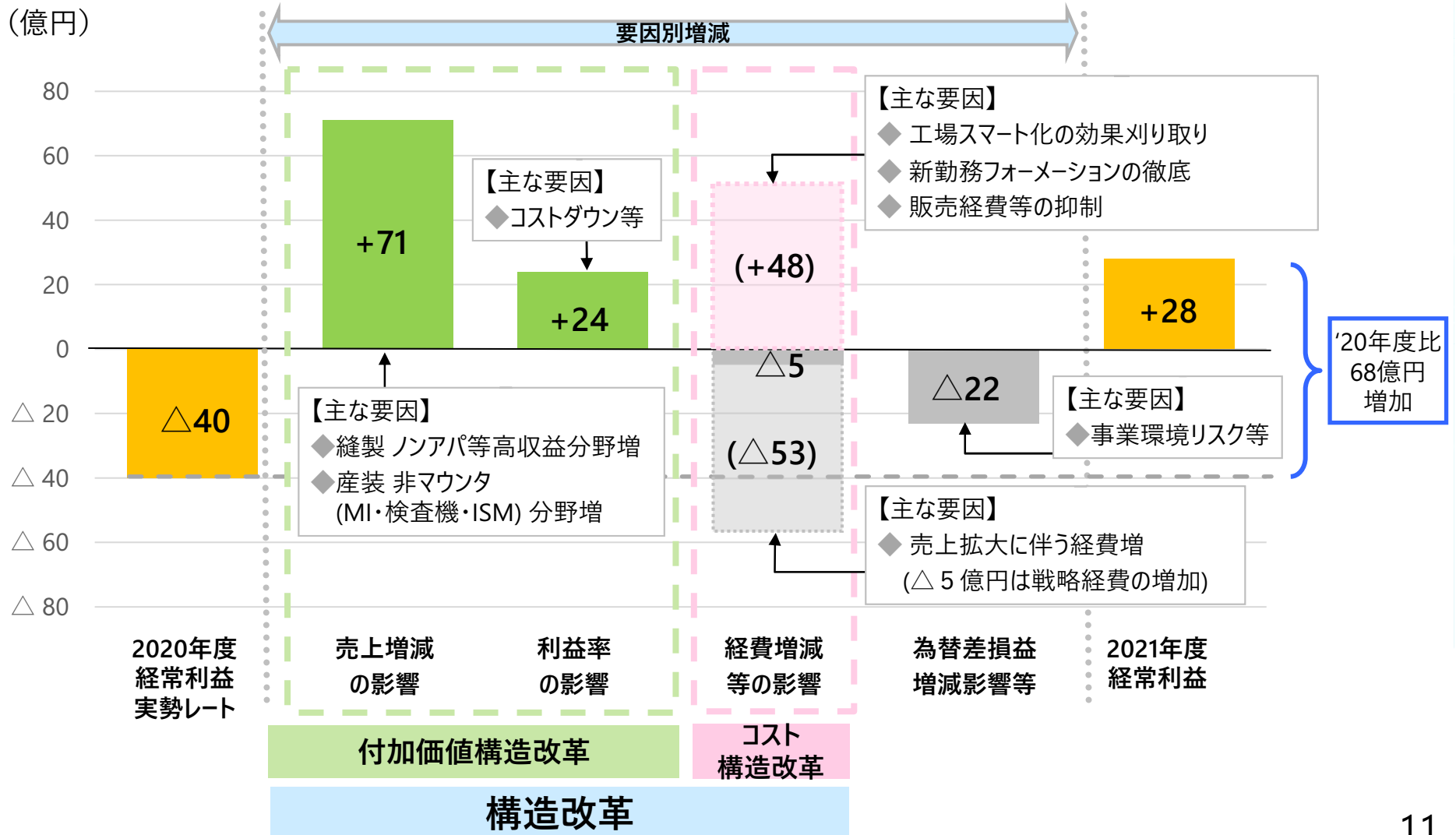
1-6-1

## 2021年12月期(2021年度)業績予想

	2021年度 通期(1-12月)	2020年度 通期(1-12月)	(億円) 前年差異
	予想	実績	[ ]は増減率
売上高	1,000	704	+296 [+42.0%]
(縫製機器 & システム)	(620)	(427)	(+193) [+45.2%]
(産業機器 & システム)	(377)	(274)	(+103) [+37.6%]
営業利益	31	△45	+76
経常利益	28	△40	+68
当期純利益	20	△47	+67
配当	通期：25円/株	通期：20円/株	+5円
為替レート	1ドル=102円	1ドル=107円	△5円

付加価値構造改革とコスト構造改革により、28億円の経常利益の実現を狙う。

2021年度の為替レート 1ドル=102円ベース





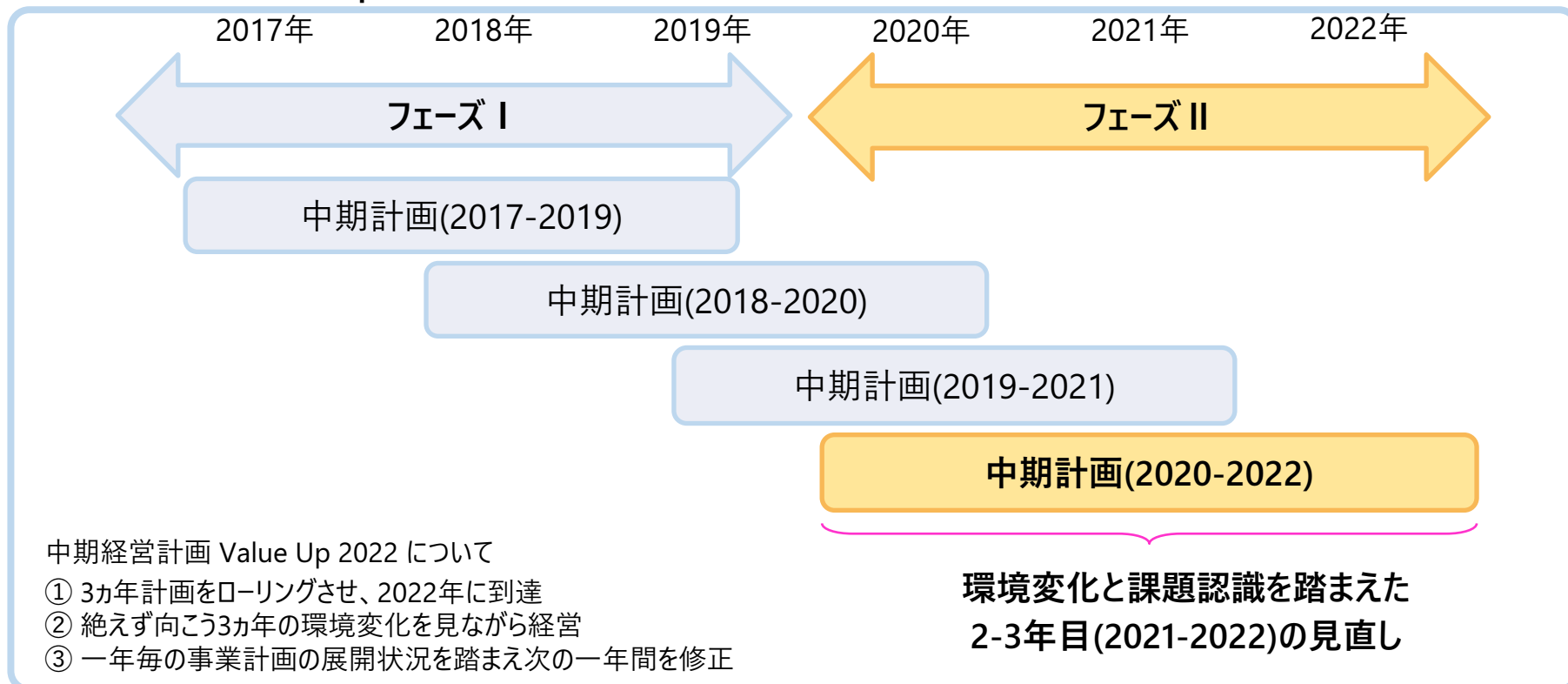
**第2部**  
**中期経営計画(2021-2022)の  
取り組みと2021年度の重点施策**

中期経営計画 Value Up 2022 フェーズII である中期計画2020-2022を、現在の事業環境/自社課題を踏まえ見直し(2022年ビジョンは変わらず)。

2022年ビジョン  
(目指すゴール)

お客様とJUKIが製品・サービスを通じて企業価値を向上できる“モノ-コト”づくり企業  
～ スマートファクトリーに向けてWinWinのパートナーへ～

中期経営計画 Value Up 2022



■ ニューノーマルに対応した新しいビジネスモデル/経営基盤の構築が必須。

### 事業環境

#### Withコロナ、Afterコロナへの対応

市場/顧客の変化による新たなビジネスニーズの出現

#### 米中貿易摩擦

米新政権の対中政策による市場影響

#### 技術革新の加速

AI/IoT/5G等を活用した製品やサービスの導入拡大

#### 顧客の変化

- ・カジュアル化による布帛→ニット分野への需要の変化
- ・5G需要の高まりによる関連業界の大きな成長
- ・サプライチェーン分断(生産地分散化)への対応の加速

### 競争環境

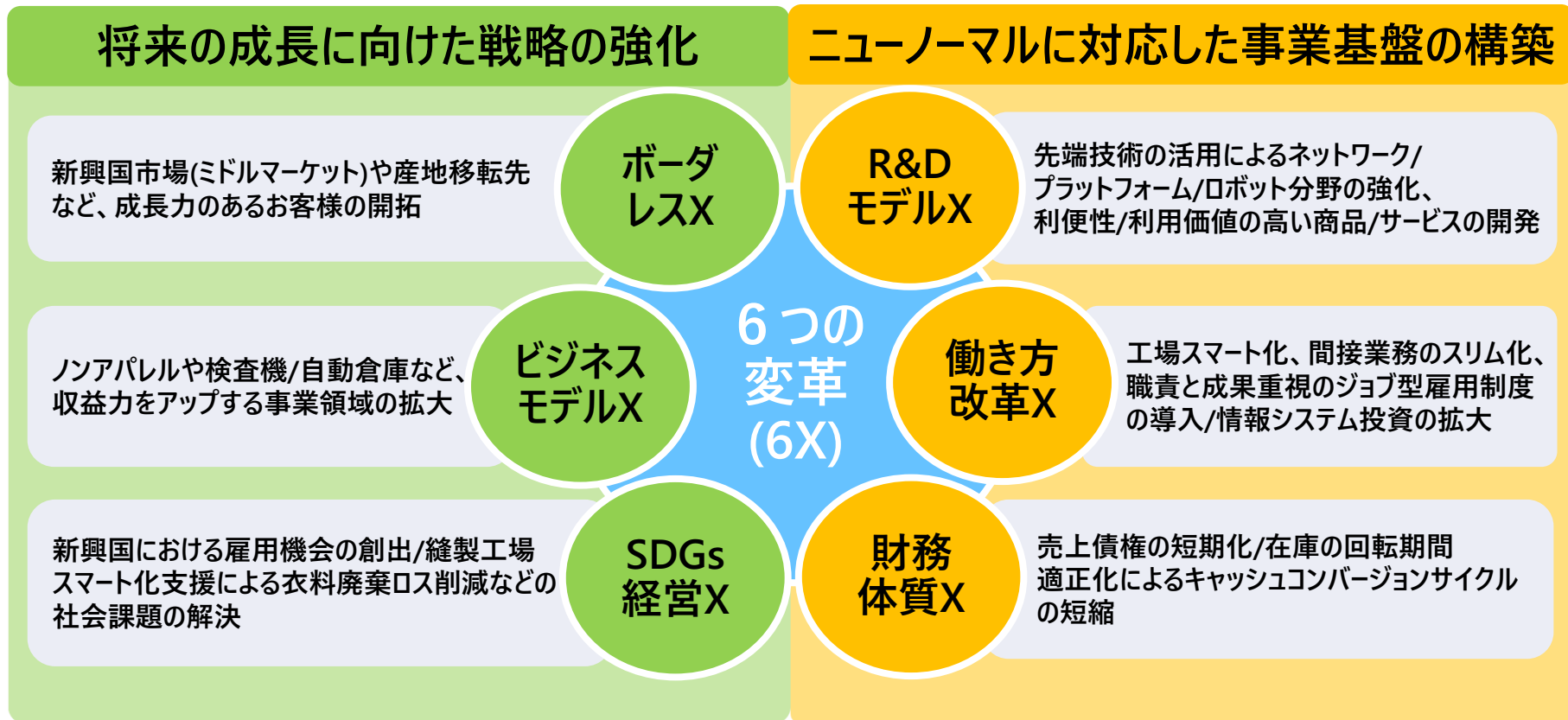
工業用ミシン: 中国メーカーとのミドルマーケットでの競争激化

産業装置: マウンタメーカーの領域拡大・異業種からの参入

### 社会的要請

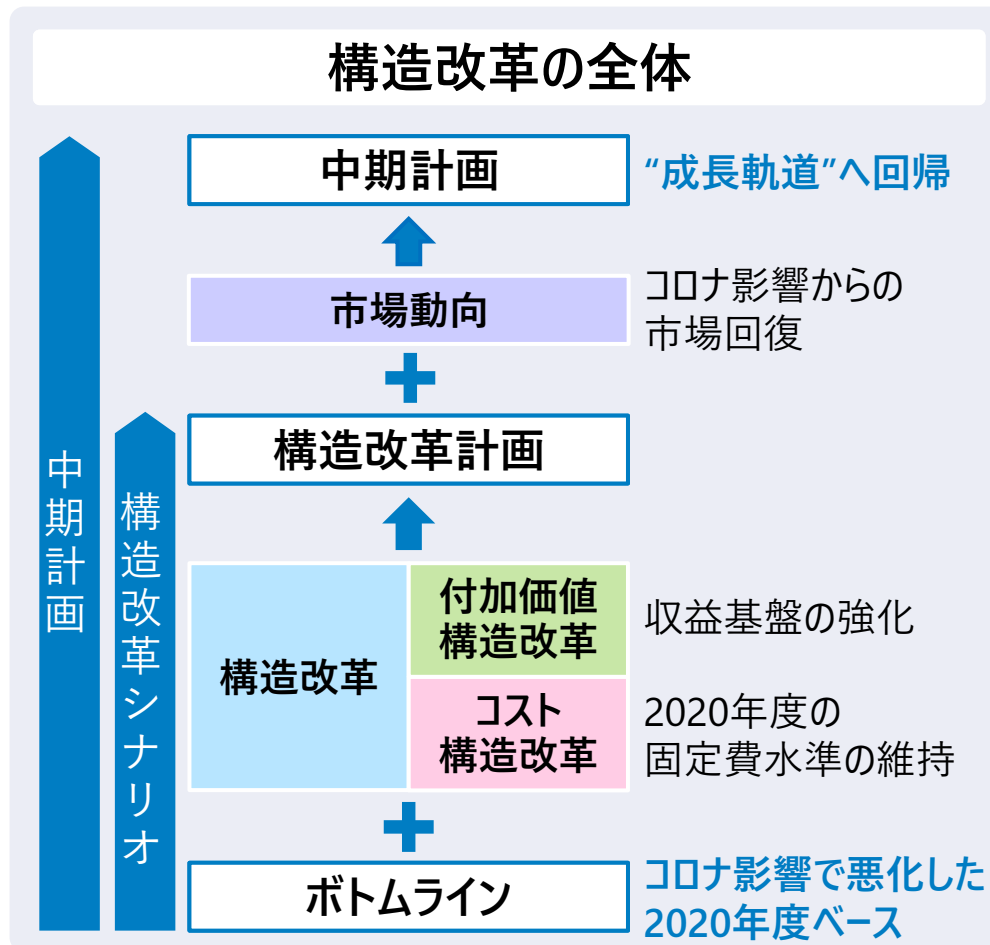
- ・省資源化・廃棄物削減の取り組みへの対応
- ・働き方改革の推進(デジタル化、リモートワーク)
- ・コンプライアンスの遵守/コーポレートガバナンスの強化

6つの変革(6X※) = JUKIの成長エンジン(※X=Transformation)  
これら6つの変革に向けた取り組みを重点とし、構造改革のスピードを更に加速。





- コロナ影響は2021年下期より回復基調、2022年は2019年水準の経済活動へ回復。
- コスト構造改革で固定費の岩盤水準を維持、付加価値構造改革で収益基盤を強化。
- 6つの変革(6X)を軸に “稼げるモデル” への変革を加速させ、“成長軌道”へ回帰。



**6つの変革(6X)**

成長戦略	①ボーダレスX
	成長力のある市場・お客様の開拓
	②ビジネスモデルX
	収益力をアップする事業領域の拡大
	③SDGs経営X
	“持続可能”な経営の実現
事業改革	④R&DモデルX
	イノベティブな事業領域の拡大
	⑤働き方改革X
	経営の5Sを軸とした生産体制及び管理（間接）業務体制の構築
	⑥財務体質X
	財務体質強化による自己資本強化と資産効率向上

## フェーズIIとして2022年にめざす姿（ゴール）

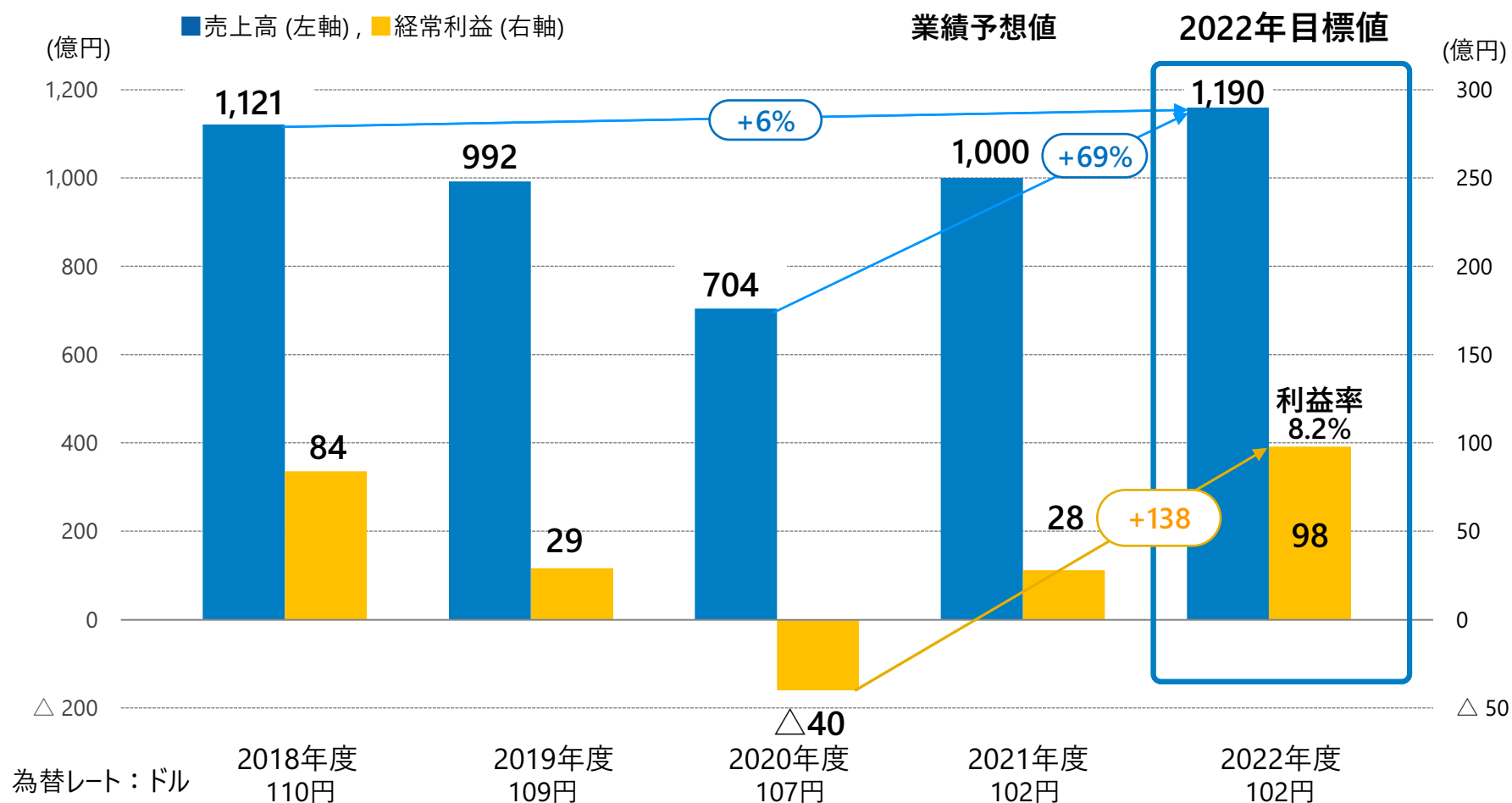
2022年ビジョン	お客様とJUKIが製品・サービスを通じて 企業価値を向上できる“モノ-コト”づくり企業 ～ スマートファクトリーに向けてWinWinのパートナーへ ～
継続成長	既存事業の拡大に加え、 「事業領域拡大/新規事業創出」による継続的な収益確保
収益性	高付加価値事業分野の拡大による収益力強化 (縫製：ノンアパ/非縫製，産装：非マウンタ分野 グループ事業：エンジニアリング事業 カスタマービジネス：サービス事業)
生産性	スマートでスリムな経営基盤構築
安定性	安定した財務基盤構築

## 2-1-6

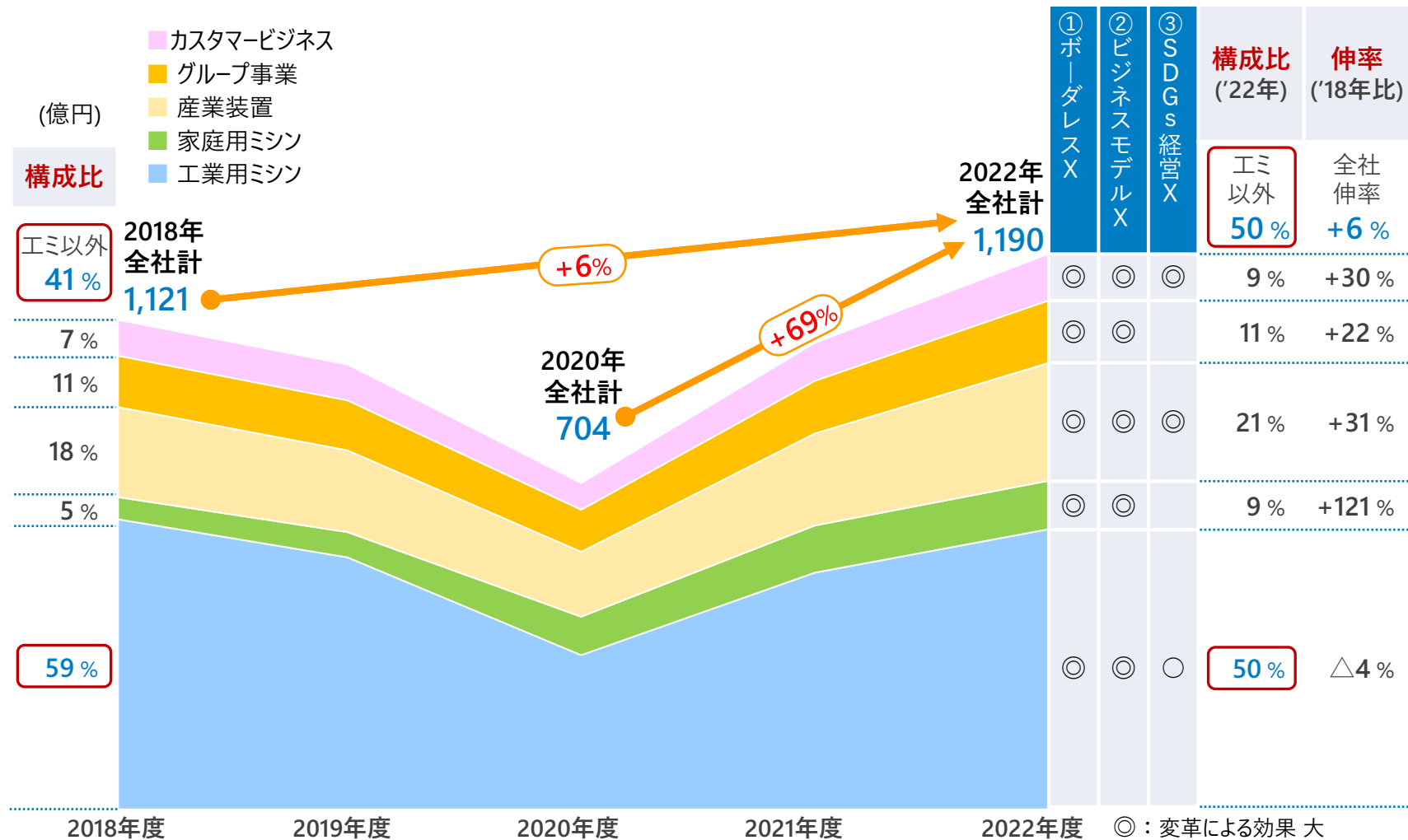
### 2021-2022 中期経営計画 -売上高/経常利益-

- 売上高 : 2022年目標 1,190億円 (2018年比+6%,2020年比+69%)
- 経常利益 : 2022年目標 98億円 (2020年比+138億円)

#### 売上高・経常利益



既存事業の強化に加え、事業領域拡大・新規事業創出により、工業用マシン以外の売上高構成比を2018年41%→2022年50%へ拡大。



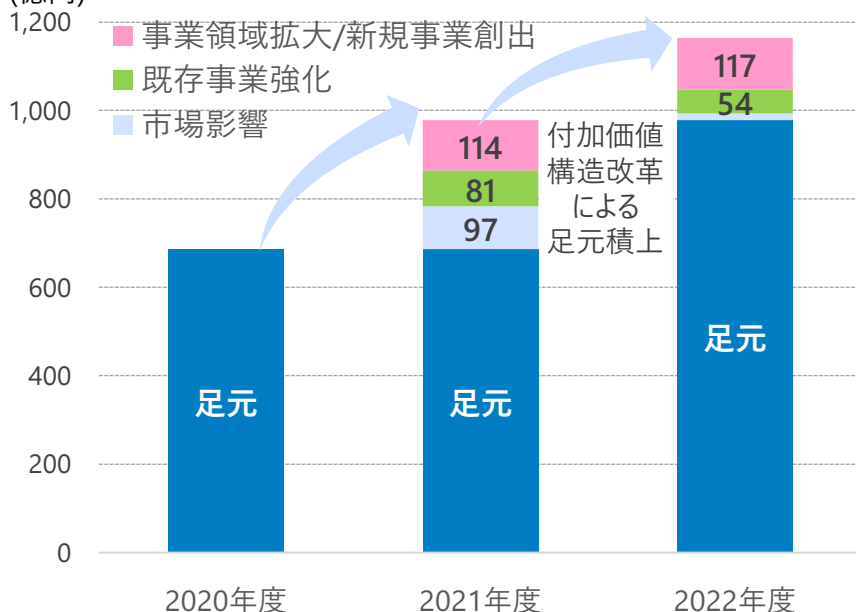
◎ : 変革による効果 大  
○ : 変革による効果 中

2022年のポートフォリオ達成に向け、各分野にて「顧客基盤の強化」、  
「高付加価値事業分野の拡大」を軸とした拡大施策を推進。

付加価値構造改革

為替：計画レート基準（1ドル=97円，1ユーロ=110円）

(億円)



既存事業強化

2020年対比  
+135 億円

+

事業領域拡大/  
新規事業創出

2020年対比  
+231 億円

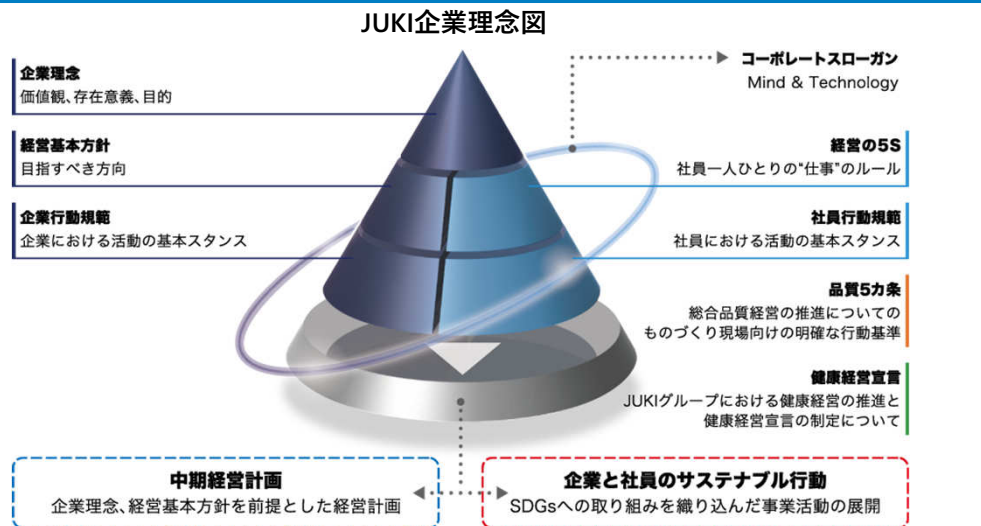
2020年対比	既存事業強化	事業領域拡大/ 新規事業創出
工業用ミシン	82 億円	64 億円
家庭用ミシン	4 億円	24 億円
産業装置	32 億円	89 億円
グループ事業	-- 億円	33 億円
カスタマービジネス	17 億円	21 億円

区分	主な取り組み
既存事業強化	顧客基盤の強化 (縫製: ミドルマーケットでの売上拡大 産装: グローバル顧客への対応強化)
事業領域拡大/ 新規事業創出	高付加価値事業分野の拡大による収益力強化 (縫製: ノンアパ/非縫製, 産装: 非マウンタ分野(MI・ロボット、検査/計測、自動倉庫) グループ事業: エンジニアリング事業, カスタマービジネス: サービス事業)



当社とステークホルダー双方にとって重要な社会課題の解決に向け、事業を通して取り組む。

“持続可能”な経営の実現



JUKIは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

取り組む社会課題	課題解決に向けた取り組み	関連するSDGs
雇用機会の創出 様々な人材の社会参加推進	新興国における雇用新規創出/職業教育支援を通じた労働者人口増加と労働者の待遇改善等の実現	1 貧困をなくそう, 4 質の高い教育をみんなに, 8 働きがいも経済成長も, 9 産業と技術革新の基盤をつくろう, 10 人や国の不平等をなくそう
衣料廃棄ロス削減の実現	「短時間で良質な製品をローコストで製造する工場」の実現	9 産業と技術革新の基盤をつくろう, 12 つくもの責任
電子産業の生産性向上による技術革新支援	実装工場における前後工程インフラの改良	9 産業と技術革新の基盤をつくろう, 12 つくもの責任
労働安全衛生の確保	市場の不織布マスク及び防護服供給不足の改善	3 すべての人に健康と福祉を
環境負荷の低減	事業活動を通じた環境負荷低減に向けた取り組みの推進強化	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに, 13 気候変動に具体的な対策を, 14 海の豊かさを守ろう, 15 陸の豊かさも守ろう

## 雇用機会の創出/様々な人材の社会参加推進



- 工業用マシン事業を通じて、新興国の産業創出と経済発展を支援  
(事例) カンボジア「ガーメントトレーニングセンター」設立支援と技能実習を足掛け9年に亘り実施。縫製業が同国最大の輸出産業に発展したことに貢献。

## 労働安全衛生の確保



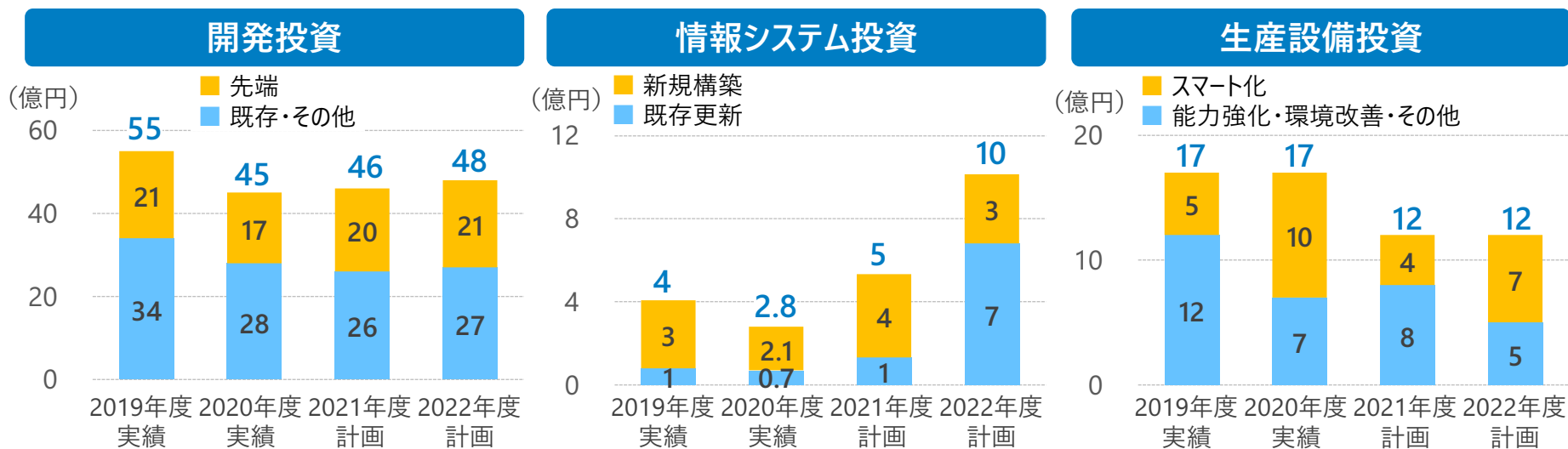
- 新型コロナウイルス感染症が拡大する中、ものづくりの手を止めず挑み続けるお客様へ寄り添っていくことがJUKIの使命  
(事例) 工業マシン事業では、「職場の安心・安全を守る提案」、「リモート・オンラインによるサポート」、「事業・生産の多角化提案（マスク・防護服製造）」により、縫製現場をサポート。

## 環境負荷の低減



- CO<sub>2</sub>・廃棄物・揮発性有機化合物(VOCs)などの排出削減活動を通して、環境への貢献活動を継続  
(事例) JUKIベトナム(株)では、CO<sub>2</sub>排出量を減らすため、第4工場に太陽光パネルを2,200枚設置する等、環境に配慮したものづくりを推進。

■ ニューノーマルに対応した新しいビジネスモデルと経営基盤の構築に向け、重点分野に対する投資を実施。

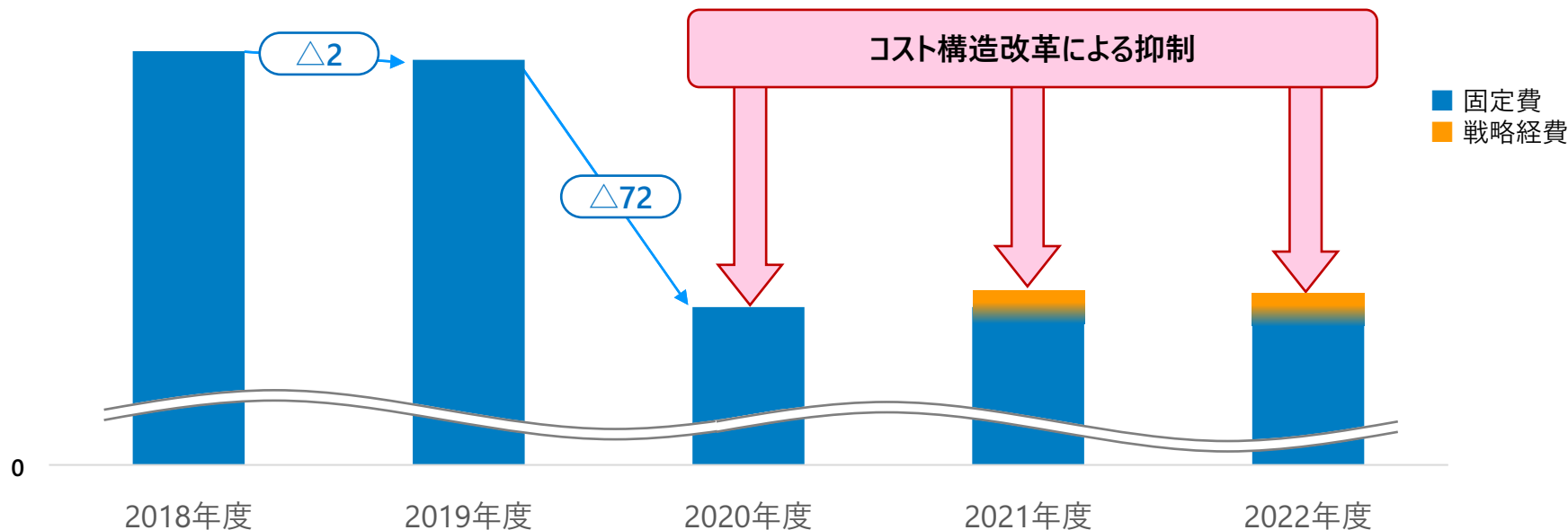


区分	主な取り組み
開発投資	<p><b>差別化製品・サービス開発の実現に向けた開発投資</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 領域拡大や新規事業分野での付加価値強化</li> <li>・ 既存事業外の先端技術の取り組み</li> </ul>
情報システム投資	<p><b>新しい経営体制を支援する情報システムの整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経営基幹システムの更新</li> <li>・ プロセス改革を支えるシステム整備/スマートツール活用による業務効率化</li> </ul>
生産設備投資	<p><b>生産拠点戦略を実現するための生産設備投資</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新規事業、領域拡大に向けた生産設備投資</li> <li>・ 生産プロセス改善及びコスト削減のための自動化・省人化投資</li> </ul>



2020年の固定費水準維持に向け、コスト構造改革を実施。  
(一方で将来の成長に向けた新規/拡大領域への戦略経費は計画に折り込み)

**コスト構造改革**



区分	主な取り組み
生産コスト改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>工場スマート化の効果刈り取り</li> <li>工場製造規模の適正化</li> </ul>
人事コスト改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>本社管理間接機能のスリム化</li> <li>職責と成果主義のジョブ型雇用制度の導入</li> <li>新勤務フォーメーションの徹底</li> </ul>
販売コスト改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕事改革による営業の生産性向上</li> </ul>

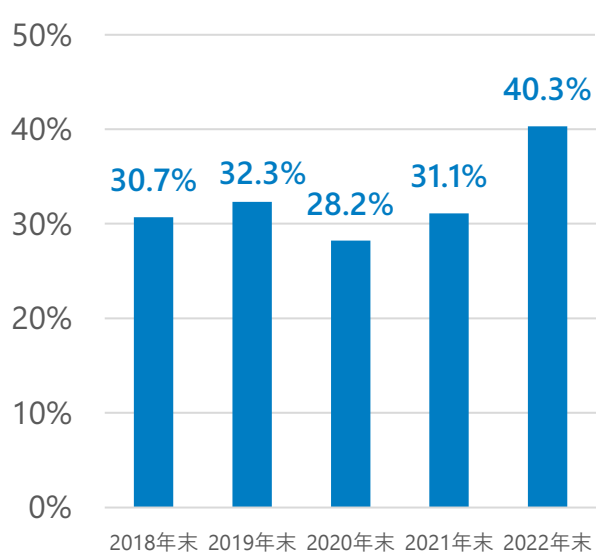
2-1-12

## 2021-2022 中期経営計画 -財務体質-

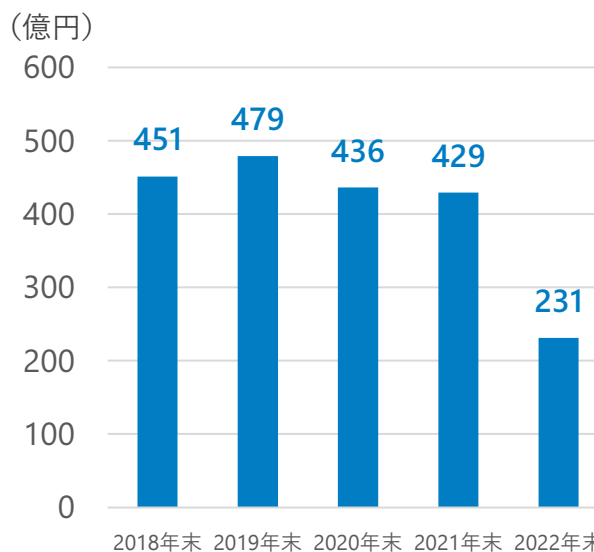


収益基盤の強化と固定費水準の維持による収益改善を徹底し、財務体質の改善を図る。

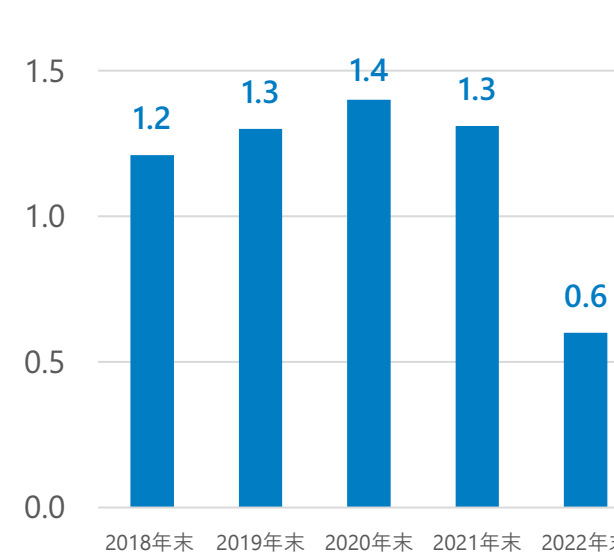
### 自己資本比率



### 有利子負債 (現預金控除ベース)



### D/Eレシオ (有利子負債 - 現預金) / 純資産



区分	主な取り組み
自己資本の積上げ	・付加価値構造改革とコスト構造改革による収益改善
有利子負債の削減	・売上債権の短期化、在庫の回転期間適正化によるCCC(キャッシュコンバージョンサイクル)の短縮

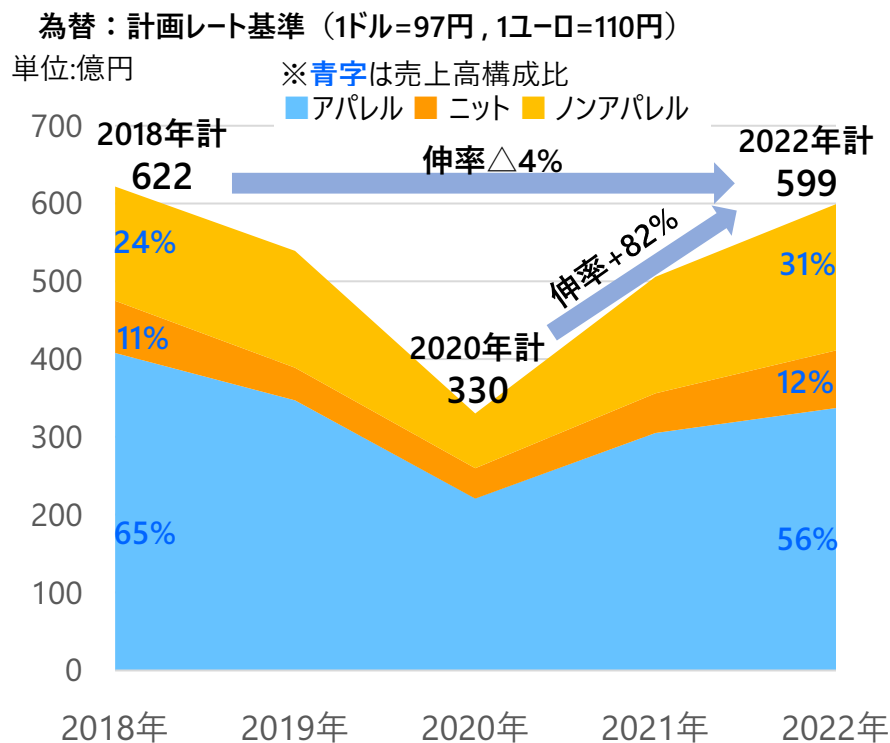
ビジョン

JUKI Smart Solutionsのもと、革新的技術とシステム提案により  
お客様のイノベーションに貢献

基本方針

- ・アパレル/ノンアパレルでのシェアNo.1堅持
- ・ニット分野の対応強化

2022年目標値



重点取り組み

新興国未開拓市場への取り組み強化

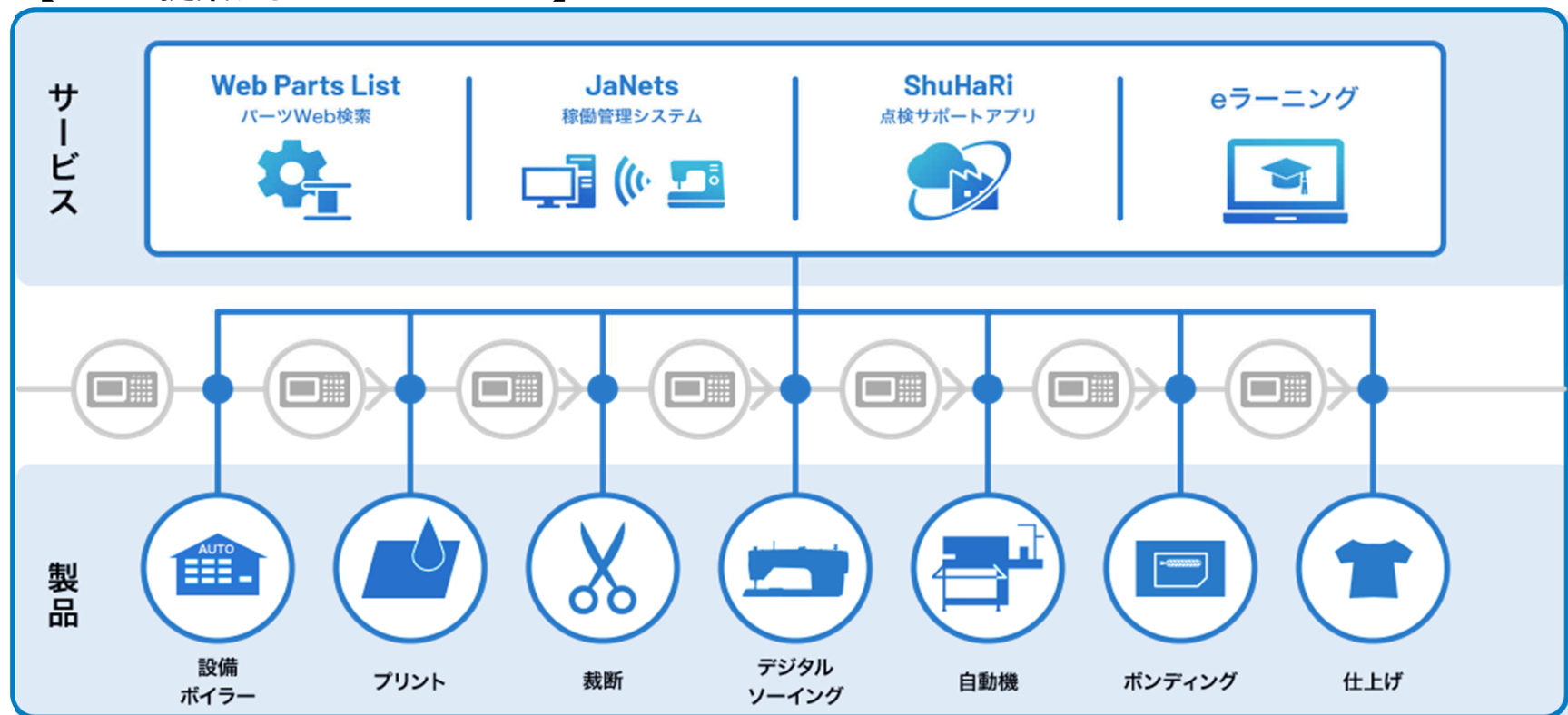


最適な製品/システム提案により、お客様工場の“スマートファクトリー化”を支援

JUKIの3つのコミットメント

- ①自動化
- ②デジタル化
- ③ネットワーク化

【JUKIが提案するラインソリューション】



## 2-2-2-1

# 縫製機器 & システム事業(家庭用ミシン)

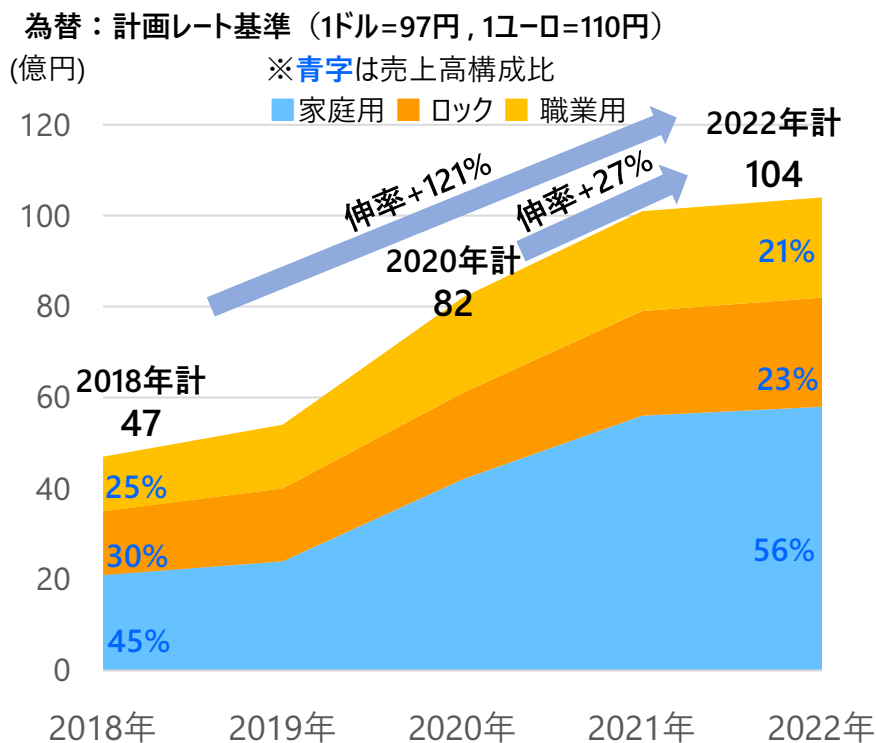
### ビジョン

趣味力の高いお客様（Home Sewer）と新たな楽しみの創造

### 基本方針

強みである高級家庭用・小型ロック・職業用・キルトを中心に事業を拡大

### 2022年目標値



### 重点取り組み

UI/UXデザインによる  
HZL-UX8の販売拡大



家庭用ミシン  
HZL-UX8

2-2-2-2

## 重点施策 縫製機器 & システム事業(家庭用ミシン)



### お客様の新しい価値創造に繋がるJUKIミシン/サービスの展開

豊富なラインナップ



ユーザー目線での  
機能や操作性



手作りサポートコンテンツ  
(動画・セミナー)



### “リアルでもデジタル”でも、お客様の“コトづくり”を支援



## 2-2-3-1

# 産業機器 & システム事業(産業装置)

### ビジョン

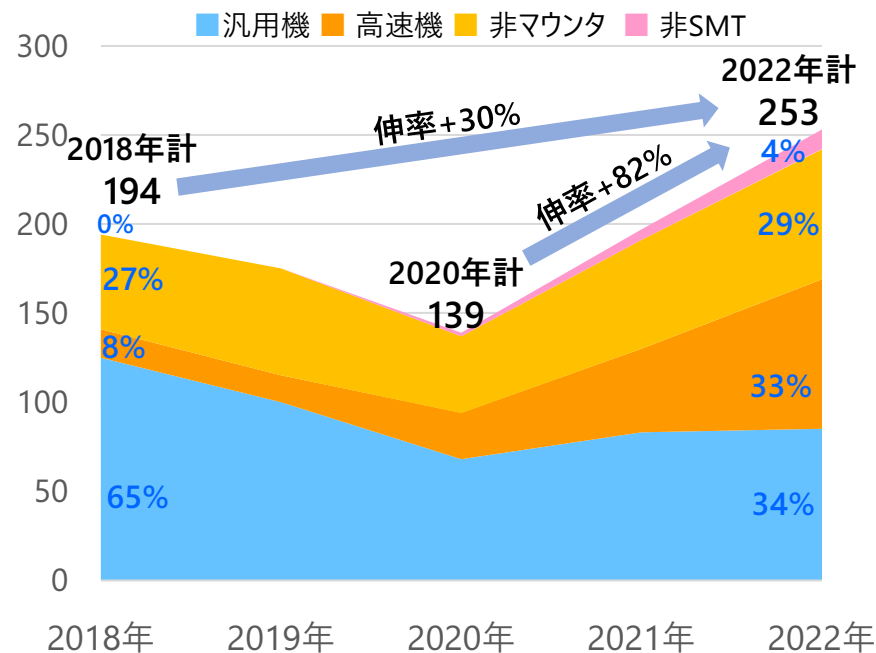
既存分野での事業基盤拡大と自動化・省人化ソリューションで、顧客にとってなくてはならない事業パートナーへ ~ 高速機市場の販売拡大(中国)、自動化・省人化(JM+ロボット・検査計測・ISM強化)

### 基本方針

非マウンタ領域でのソリューション拡大・顧客開拓と、マウンタ領域での高速機強化によるラインソリューション拡充で事業基盤を拡大

### 2022年目標値

為替：計画レート基準 (1ドル=97円, 1ユーロ=110円)  
(億円) ※青字は売上高構成比



### 重点取り組み

販社間連携による重点市場の攻勢強化



# JUKI Smart Solutions

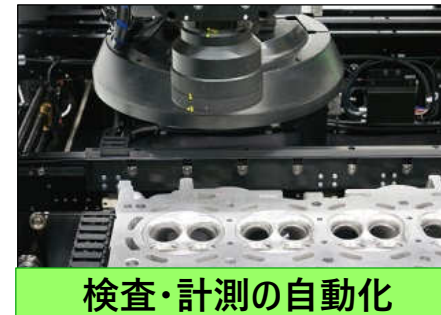
アライアンスの深化と自動化の追求で更に事業領域を拡大



倉庫管理の自動化



後工程・組付の自動化



検査・計測の自動化

実装統合システムソフトウェア

**JaNets**  
Juki Advanced Network system

基幹システム連携	外部規格連携
遠隔サポート	AI予知保全
生産・設備可視化	装置間連携

他社連携

ストレージ管理システム



部品供給管理領域

マウンタ・検査機・後工程マウンタ



SMT領域

ロボットシステム



手挿入領域

組立領域

検査・計測システム



検査・計測領域

拡大事業領域

既存事業領域

拡大事業領域



## 2-2-4-1

# 産業機器 & システム事業(グループ事業)

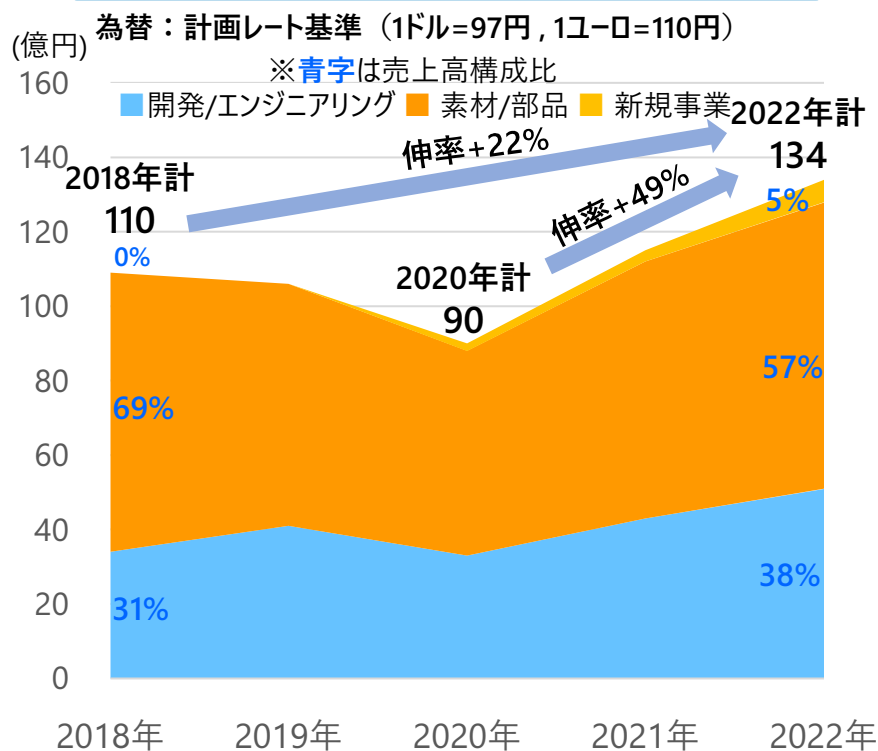
### ビジョン

JUKIグループの経営資源（製造技術含む）を活かし、JUKI第三の柱へ

### 基本方針

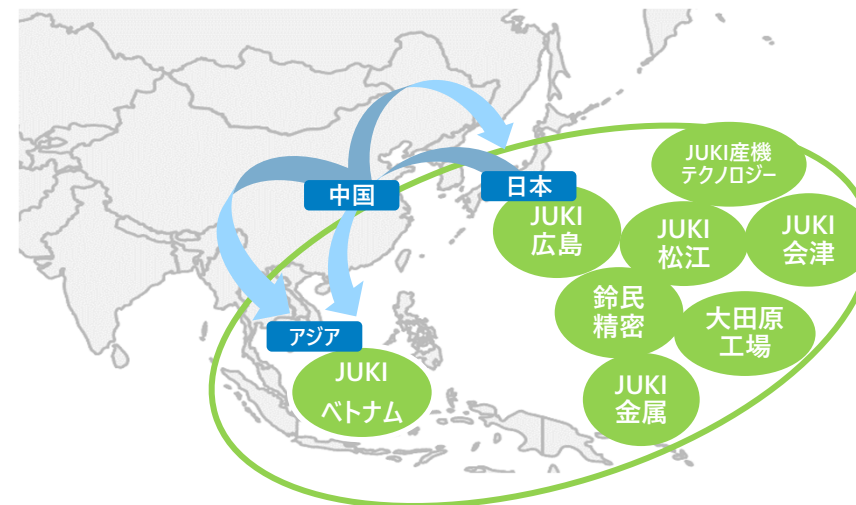
新規顧客開拓と重要顧客の間口拡大で第三の柱となるべく売上を拡大

### 2022年目標値



### 重点取り組み

アジア/日本における産地移転案件の取り込み強化



3つの強みを活かしたJUKIの受託開発・受託製造の拡大

【生産力】～一気通貫で行う生産体制～

企画・開発から組立までをワンストップで行うエンジニアリング事業



【提案力】～設備の自動化/見える化～

重労働作業や単純反復作業のロボット化や、生産性の高いラインへの改善や生産の見える化



【技術力】～マシン/マウンタで培ったノウハウの発揮～

「人」と「資材・設備」による高品質なものづくり



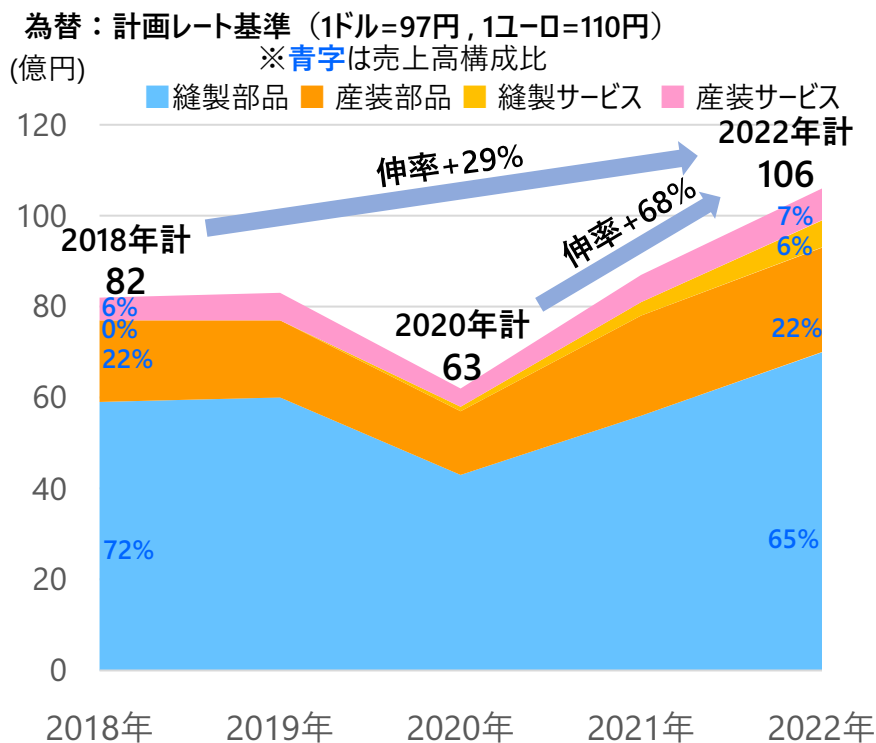
ビジョン

今日頼んだものが、明日必ず手に入るJUKI部品

基本方針

縫製、産装の垣根を越えて『モノ』売りから『コト』売りへ  
～付加価値拡大にて顧客囲い込み加速～

2022年目標値



重点取り組み

点検サポートアプリによる  
縫製サービス事業の拡大



パーツ/サービスBiz拡大



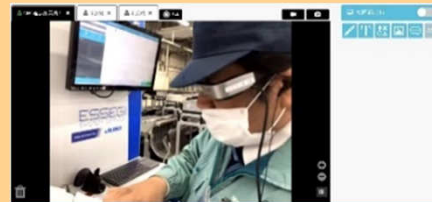
- ・縫製: 点検サポートアプリによるパーツ拡販
- ・産装: トレードインビジネスの再構築



Withコロナ、Afterコロナ  
お客様支援



・eラーニング



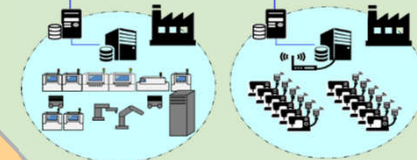
・遠隔サポート

スマートライン導入における  
アフターサービス事業拡大

設備予防  
保全管理



設備予兆  
保全管理



Smart Solutionへの対応

在庫最適化  
管理システム



パーツ供給体制  
パーツセンター/販社倉庫

活動を支える後方支援

PARTS Website

JOL for Sewing

- ・パーツWebサイト
- ・JOL

情報共有、発信の為の  
ネットワークシステム

協力会社とのオープンイノベーション

本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等が様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承ください。

## JUKI 株式会社

お問合せ先：経営企画部 担当：鴨居田

TEL：042-357-2294 FAX：042-357-2399

ホームページURL：<https://www.juki.co.jp/>